



さわらび

第70号

発行元:十和田市立中央病院 地域医療連携室

発行責任者:室長 蘆野 吉和

十和田市西十二番町14番8号

TEL 0176-23-5869

FAX 0176-21-1234

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/>

「新年を迎えて」

十和田市病院事業管理者 蘆野 吉和

昨年 は 病院職員と地域の医療機関の協力で、ほぼ期待どおりの病院運営および経営を行うことができました。実績としての4月から11月までの数値ですが、平均入院患者数 247.1名(一般病床)、275.2名(全病床)、平均病床稼働率 80.8%(一般病床)、平均入院単価 49,103円(一般病床)、紹介率は 62.3%~75.1%(平均 67.9%)、逆紹介率は 31.0%~51.1%(平均 39.6%)とすべて上昇傾向が見られます。皆様のご協力に心から感謝いたします。



地域連携に関しては、連携室の正職員(MSW)を1名増やし、院外では登録医、病院、福祉施設および介護施設と円滑に連携できるよう、院内では退院調整が円滑に進むよう「地域医療連携室」の機能強化をはかった年でした。まだ十分とは言えませんが連携が着実に進んでいることを実感できた年だったと思います。

新しい試みも始まりました。口腔ケアにおける歯科医師会との連携、病床の共同利用、がん連携パスの導入などです。これらについては、今年の実績を積み重ねながら推進してゆく予定ですが、これまで取り組んできた脳卒中、糖尿病、がん終末期、などに加えて急性心筋梗塞、認知症、嚥下リハなどの連携システムも構築してゆきたいと思います。そして、特に地域内でのリハビリテーション提供体制の充実を課題として取り組みを開始します。

今年 は、4月に診療報酬と介護報酬の同時改定が予定されています。この同時改定では、医療と介護と福祉の「融合」を目標に様々な重点施策が打ち出されるものと思います。また、新たな医療法改正が視野に置かれているとの報道もあります。いずれも、ますます高齢化が進む日本の地域社会に対する備えとしての施策です。現在、上十三医療圏内でも慢性的な病気や加齢により身体の臓器も含め活動機能が低下してゆく人(特に高齢者)が「どんどん」増えています。特に、介護者がいない人や介護力のない人、介護したくない家族、そしてお金のない人が増えているという実感があります。

どのような状況であれ、住み慣れた地域の中で安心して暮らすことができるよう支え合う体制を地域の実情に合わせて創ってゆくことが求められています。このためには、当院の急性期医療体制の充実とともに、医療と福祉介護の連携強化、そして、在宅医療体制の構築が緊急の課題となります。

当院のスタッフが全員上記の認識のもとに地域連携を深めていくことを期待しつつ、また、地域の医療介護福祉に関わる皆様方には連携強化に向けてのご協力をお願いし、地域住民の方には「かかりつけ医」についての認識を新たに持ってもらうことを期待し、年頭の挨拶と致します。

新しく脳神経外科に赴任された医師を紹介します



科長 たけだ てつじ
竹田 哲司

平成 24 年 1 月から十和田市立中央病院
脳神経外科に勤務しております。

出身は愛媛県です。地域に貢献できるよ
うに努めていきたいと思っていますので宜し
くお願いします。



卒業大学	弘前大学
所属学会	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会

認定看護師・セラピストによる相談窓口（その 2）

先月に引き続きまして相談窓口の紹介をします

当院では、各分野の認定看護師やセラピストが地域の医療・介護・福祉施設からの看護・ケアに関する相談をお受けしておりますので、各相談窓口の担当者どうぞ遠慮なくご連絡ください。

リンパ浮腫に関する相談窓口

リンパ浮腫ケアセラピスト 新谷 亨
(リハビリテーション科作業療法士)

リンパ浮腫は、リンパ系の発育不全や二次的な原因（婦人科がん・前立腺がん等の外科的療法や放射線治療の後遺症、静脈疾患 等）により、リンパ液の流れが滞ることにより起こります。手足等が腫れて、重だるさ、疲労を感じやすくなったり、外観上の変化が生じるため、日常生活に支障をきたす場合があります。当院では、スキンケア・用手的リンパドレナージ・圧迫療法・圧迫下での運動・日常生活指導を患者様の状態に合わせて複合的に治療をしています。

しかし、浮腫を主訴に病院を受診することは、よほど症状が強かったり急激である場合を除いては少ないのが現状です。浮腫に悩みを抱える方や、そういった方々に関わる地域の医療従事者のみなさまも、その対応に苦慮されているケースがあると思います。このような場合は、気兼ねなく私達に相談をしてください。その方の身体の状態や、生活状況を考慮したケア方法の提案や治療施設の情報提供など、お役に立てることがあるかもしれません。

リンパ浮腫を抱える方が在宅で安心して生活を送ることができるように、リンパ浮腫の早期発見や症状の緩和のための手助けをさせていただければと思います。

問い合わせ先

リハビリテーション科(担当) 新谷

0176-23-5121 (内線 2284)

化学療法(抗がん剤治療)に関する相談窓口 **がん化学療法認定看護師 佐々木 美紀(外来看護師)**

みなさん、こんにちは。がん化学療法看護認定看護師の佐々木です。昨年の6月に認定看護師となりました。私は現在、化学療法センターに勤務しています。外来に通ってくる患者さんに抗がん剤治療を行いながら、副作用の観察や副作用対策などの指導を行い、自宅に帰った後もいつも通りの日常生活を送ることができるように支援しています。

がん化学療法の分野は日々進歩しております。がん化学療法の発展とともに副作用の種類も複雑化していて、化学療法薬の種類によっては皮膚障害や高血圧というような、今までには知られていないタイプの副作用がでることもあります。

抗がん剤治療をしている患者さんに起きている症状が、すべて副作用とは限りません。もともとある病気が引き起こした症状なのか、手術後に起きた症状なのか、化学療法薬で起きた副作用なのか、原因を追及する所からはじまります。まずは患者さんの症状をしっかりと聞き、それから対処していかなければなりません。

私自身もまだまだ未熟者ですが、日々進歩していきたいと思っています。
分からないことがありましたら、気軽に声をかけて下さい。

問い合わせ先

化学療法センター (担当)佐々木

0176-23-5121(内線 2229)

糖尿病・フットケア(足の爪)に関する相談窓口 **糖尿病療養指導士 福沢麻紀(主任看護師)**

糖尿病患者は年々増加の一途をたどり、これに基づく合併症も増えてきています。

糖尿病は良い血糖コントロールを維持すれば、合併症の発症や進展が予防できます。

自己管理が大切であり、患者さま自身が治療法を十分に理解し、日々の生活の中で実行していかなければなりません。

当院糖尿病ケアチームでは、糖尿病療養指導士が、糖尿病の専門知識の提供や、実現可能な自己管理方法を一緒に考えていくなどのお手伝いをさせて頂いています。

現在は、

糖尿病教室(各コメディカルが月ごとに担当 月2回 参加費・申し込み不要)

市民にむけての糖尿病教室(年1回 参加費・申し込み不要)

糖尿病療養指導(個別 予約制)

糖尿病地域連携パスでの継続したフォロー(逆紹介させて頂いた患者さま対象)

フットケア外来(足のケアだけではなく、神経障害などの検査で足病変ハイリスクの評価もしています。予約制)

市民のための出前講座

などを行っています。

患者さま自身が、積極的に治療・自己管理に取り組む事が出来るように、

糖尿病ケアチームメンバーが一丸となって支えていきたいと考えております。

患者さまだけでなく、ご家族、地域の医療・介護関係者の方、または糖尿病に

関心のある方など、ご相談があればお気軽にお声をかけて頂ければと思います。

問い合わせ先

糖尿病外来 (担当) 福沢

0176-23-5121(内線 7570)

※次回でも引き続き認定看護師による相談窓口を紹介します。

診療案内

【お知らせ】

平成 24 年 1 月より「乳腺外来」が月曜日休診となりました。
詳しくは当院ホームページよりご確認ください。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/02senmonGairai/02nyusenGairai.html>

平成 23 年度 12 月患者数等の実績

入院患者数(一般)	1 日平均 252.8 人
外来患者数(一般)	1 日平均 586.1 人
平均在院日数(一般)	13.7 日
病床利用率(一般)	77.8%

紹介率	75.0%
逆紹介率	45.7%

(資料提供 医事課)

お知らせ

< 栄養科の取り組み >

当院の栄養科では、入院中の患者さんの健康状態に合わせた栄養管理はもちろんのこと、おいしく飽きのこない献立を工夫しています。



行事食

お正月料理

< 平成 23 年度中央病院大忘年会が開催されました >

平成 23 年 12 月 21 日(水)
富士屋グランドホールに於いて、当院主催の大忘年会が盛大に開催されました。
お互いに日常の労をねぎらい、充実したひとときとなりました。



お忙しい中、登録医の先生方をはじめ、たくさんの関係者のご参加いただきましてありがとうございました。

足蹴「今月のアート」
皆さんご存知ですか？
画 畑中 光昭

< 病院アート >

3 階東側、看護局付近にて「嘸み付き辰」が猛威をふるっております。お近くを通られる際には十分お気をつけください。

